

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目： 専門科目（文学研究の基礎）

試験時間：Aコース 120分・Bコース 90分

1.

- (1) Prometheus
- (2) picaresque novel
- (3) soliloquy
- (4) pastiche
- (5) flapper
- (6) Jonah
- (7) Passover
- (8) sonnet
- (9) Samuel Johnson
- (10) Pilgrim Fathers
- (11) Aristotle
- (12) Revelation
- (13) Dionysus (Bacchus)
- (14) Homer
- (15) allegory
- (16) Seven Deadly Sins
- (17) Fabian Society
- (18) Utilitarianism
- (19) Rousseau, Jean-Jacques
- (20) Ruskin, John

2.

(1) A nineteenth-century religious movement within the Church of England that emphasized links with Catholic tradition and practice. It was launched by a sermon preached in 1833 by John Keble and became an influential counter-current to Evangelicalism. Its ideas were spread in a series of 90 *Tracts for the Times* --many of them written by John Henry Newman

(2) Term applied to the work of a number of playwrights in the 1950s whose plays reflected a sense that life was without ultimate significance and that meaningful communication was impossible. The philosophical basis of Absurdist drama was developed by Albert Camus. The main writers associated with the theater of the Absurd are Arthur Adamov, Samuel Beckett, Eugene Ionesco and, later, Harold Pinter.

(3) A novel about the education and development of the young hero. Well-known examples are Goethe's *Wilhelm Meisters Lehrjahre* and Flaubert's *L'Education sentimentale*.

(4) A technique used in some twentieth-century fiction to convey the complex flow of unorganized impressions, thoughts, and feelings that make up the individual's awareness of and response to the surrounding world. James Joyce's *Ulysses* provides some celebrated examples of its use.

(5) A philosophical movement that posits an absurd universe in which the individual must rely on personal acts of choice to define a relationship with a world that has no transcendent structure of meaning. Though its roots go back to the work of the nineteenth-century Danish philosopher Soren Kierkegaard, twentieth-century existentialism owes most to the writings of the French philosopher Jean-Paul Sartre, in particular to his *L'etre et le neant (Being and Nothingness)*.

(6) A collection of Jesus's teachings which Matthew 5-7 presents as a sermon delivered by Jesus on a mountainside in Galilee, opening with the Beatitudes. Many phrases that are now part of Western culture have their origin here.

(7) A long narrative poem that recounts the deeds of a hero or group of heroes - often in the context of events that shaped a nation's history. Among the most celebrated epics in western literature are Homer's *Iliad* and *Odyssey* (eighth century BC), Virgil's *Aeneid* (first century BC), and Milton's *Paradise Lost* (1667).

(8) The therapeutic release of emotion that Aristotle took to be a central effect of tragedy. He argued that the play excited emotions of pity and fear, which were then purged by the tragic resolution.

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（イギリス文学I）

試験時間：Aコース 120分・Bコース 90分

① 著者名	作品名
A (Alexander Pope)	(<i>The Rape of the Lock</i> , 1712)
B (William Shakespeare)	(<i>Richard III</i> , 1592-93)
C (Henry Fielding)	(<i>The History of Tom Jones</i> , 1749)
D (Anonymous)	(<i>Everyman</i> , 15c)
E (John Donne)	("A Valediction: Forbidding Mourning" 1633)

② (D) → (B) → (E) → (A) → (C)

③ A (2) B (5) C (3) D (1) E (4)

④

(1) allegory (寓意)

- ・ 抽象的な概念を擬人化し、物語を通して教訓を伝える手法。
- ・ 例: Anonymous の *Everyman* では、「死(Death)」や「善行(Good Deeds)」が人物として登場し、死にゆく者の魂の救済劇を描く。

(2) mock-heroic (擬似英雄詩)

- ・ 取るに足りない些細な主題を、古典叙事詩（英雄詩）の壮大な文体や形式を用いて描くパロディの手法。
- ・ 例: Alexander Pope の *The Rape of the Lock* は、髪盗みという些事を、神々の介入や戦闘として大袈裟に描いている。

(3) The Rise of the Novel (小説の興隆)

- ・ 18世紀イギリスにおいて、中産階級の台頭と共に、写実的な散文フィクションが主要な文学ジャンルとして確立した現象。
- ・ 例: Henry Fielding の *The History of Tom Jones* は、この時期を代表する作品であり、好青年トムの恋と冒険を描くピカレスク小説。

(4) Metaphysical poetry (形而上詩)

- ・ 17世紀の詩に見られる、奇抜な比喻（奇想: conceit）やパラドックスを多用し、感情と知性を融合させた詩風。

- ・ 例・John Donne の “A Valediction: Forbidding Mourning” では、恋人たちの魂を「コンパスの二本の脚」に喩える有名な奇想が用いられている。

(5) Vice (悪徳)

- ・ 中世の道徳劇 (Morality Play) に登場する、主人公を誘惑する悪の擬人化キャラクター。観客に直接語りかけるなど、道化的な要素を持つ。
- ・ 例・William Shakespeare の *Richard III* におけるリチャード三世は、この Vice の伝統を受け継ぎ、自身の悪巧みを観客に楽しげに語る悪役として描かれる。

⑤

A (*The Rape of the Lock*)

- ・ 恋愛の些事からいかに恐ろしい罪が生じるか、些細なことからいかに大きな争いが起こるか、私は歌おう。ミューズよ、この詩はキャリルに捧げるものである。ベリンダさえもこれを見られるかもしれない。主題は軽微だが、もし彼女がインスピレーションを与え、彼がわが歌を是認してくれるなら、その栄誉は小さくはない。

B (*Richard III*)

- ・ 今や、我々の不満の冬は、このヨーク家の太陽 (息子) によって栄光の夏へと変わった。我らの一族にのしかかっていた黒雲は、水平線の彼方深くに葬られた。今や勝利の花輪が額を飾り、戦太鼓の響きは楽しい集いへと、猛々しい進軍は愉快的な舞踏へと変わった (戦争の終結と平和の訪れを語る冒頭の独白)。

C (*Tom Jones*)

- ・ サマセットシャーと呼ばれるこの王国の西部地域に、オールワージという名の紳士が住んでいた。彼は自然の女神と幸運の女神の両方から愛された人物と言えるだろう。自然の女神と幸運の女神は、どちらが彼をより祝福し富ませるかを競い合っているかのようだった。

D (*Everyman*)

- ・ 皆様、耳を傾けて、この物語を恭しく聞いてください。これは『万人の召喚』と呼ばれる道徳劇で、我々の人生と結末がいかに儂いものであるかを示すものです。内容は極めて貴重であり、その主旨は敬虔で、快く心にとめてお帰りいただけるものです。

E (*A Valediction*)

- ・ だから私たち二人の魂は一つなのだ。たとえ私が遠くへ行っても、それは断絶ではなく、金箔が薄く広がるように拡張するだけなのだ。もし魂が二つだと言うのなら、コンパスの二本の脚のようなものだ。君の魂は固定された脚で、それ自体は動く素振りを見せないが、もう片方が動けばそれに合わせて傾き、戻ってくれば直立する。

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（イギリス文学II）

試験時間：Aコース 120分・Bコース 90分

I

3.

例えば Laurence Sterne の *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman* などが考えられる。主人公の Tristram は全9巻のうち4巻目になってやっと登場し、その間、面白おかしいエピソードを連ねながら、ストーリーは脱線に脱線を重ね、白紙や真っ黒に塗りつぶした頁が挿入されたり、物語の展開を奇妙な図式で悦明するなど、実験的な要素がふんだんに盛り込まれている。

4.

II.

	作品名	作者	地名と作品との関係性
1	<i>Jude the Obscure</i>	e	Oxford をモデルとした街の名。Jude は大学に進学し、聖職者になる夢を抱いて Christminster を目指すが、夢は叶わず、その地で息絶える。
2	<i>To the Lighthouse</i>	d	三章から成る本作第一章では、Ramsey 一家の別荘があるヘブリディーズ諸島のスカイ島が舞台となり、第三章で一家はその地を再訪する。
3	<i>Frankenstein: or, The Modern Prometheus</i>	g	Victor Frankenstein と彼が創り出した monster は追いつ追われつの関係を続けつつ、最後に北極の地に辿り着き、それぞれの最期を迎える。
4	<i>Emma</i>	f	ヒロイン Emma が最終的に結婚することになる Mr. Knightley の所有する地所（架空の地）の名前。
5	<i>Great Expectations</i>	b	幼い Pip が一時期訪問していた Miss Havisham の屋敷。Pip はそこで Miss Havisham の養女の Estella に出会い、彼女に熱烈な恋心を抱く。
6	<i>A Passage to India</i>	a	インド訪問中のイギリス人女性 Adela は、Marabar 洞窟でインド人の Dr. Aziz とふたりきりになると突然錯乱状態になり、彼に性的暴行を受けたと証言してしまう。
7	<i>A Handful of Dust</i>	c	田舎の地主 Tony Last は妻に裏切られ、失望のうちにアマゾンの探検隊に加わるが、そこで出会った Mr. Todd にはめられ、帰国の道を断たれる。

III.

(1)

17世紀後半の王政復古の時代に人気を博し、フランスの衝撃を模した洒落た会話や軽佻浮薄な風習をモチーフとする喜劇の伝統は近代劇にも持ち越され、たとえば Noel Coward は、1920～30年代の上・中流階級を舞台にした現代風習喜劇を手掛けた。代表作としては、別れた夫婦がそれぞれ再婚し、ハネムーン先のホテルで鉢合わせする *Private Lives* や、心霊術で先妻の霊が呼び出され、奇妙な三角関係の状況が生じる *Blithe Spirit* などが挙げられる。

(2)

19 世紀末にフランスを中心に広まった風潮で、文学や芸術の精神が衰退し、墮落してきた現象を指す。官能的な美、怪奇で異常なものに宿る美を求め、退廃を美しいと感じる傾向が世紀末の英仏文学に見られ、イギリスでは Oscar Wilde の小説 *The Portrait of Dorian Gray* や Arthur Symonds の詩などがその代表。

(3)

書簡体小説。登場人物間の手紙のやりとりによってストーリーが進行する。18 世紀の小説の創成期に Samuel Richardson が *Pamela* や *Clarrisa* でこの手法を用い、幽閉されたヒロインの揺れる内面世界を克明に描き出した。

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目： 専門科目（アメリカ文学）

試験時間：Aコース 120分・Bコース 90分

I

作者名	作品名
1 Emily Dickinson	
2 Mark Twain	<i>Adventures of Huckleberry Finn</i>
3 Ernest Hemingway	“Indian Camp”
4 Toni Morrison	<i>Beloved</i>
5 Langston Hughes	“The Weary Blues”
6 Frederick Douglass	<i>Narrative of the Life of Frederick Douglass, An American Slave, Written by Himself</i>
7 Herman Melville	“Benito Cereno”
8 Nathaniel Hawthorne	<i>The House of the Seven Gables</i>
9 Walt Whitman	“Song of Myself”
10 Edgar Allan Poe	“Fall of the House of Usher”

II

1) 20世紀前半のモダニズムを超える20世紀後半の文学傾向。ポップ・カルチャーを取り入れて高踏文化と大衆文化という二元論を撤廃したり、複数の語り手が脱線しながら語ることで絶対的の主体を否定するなどの特徴をもつ。小説ではトマス・ピンチョンが代表的。

2) F. O. マシセンによって規定された19世紀半ばのアメリカ文学の新しい潮流。エマソン、ソロー、ホーソン、メルヴィル、ホイットマンといった作家・詩人が超越主義やロマン主義を深く追求することでヨーロッパから脱却したアメリカ独自の文学を確立した。

3) 1980年代にレイモンド・カーヴァーを代表格として広がった短編小説のスタイル。ミニマル、すなわち最小限という言葉が示すように、些細な日常を題材に、平易

な文章で多くを語らないことで逆に小説世界に深みをもたせるところに特徴がある。

4) この名称が使われたのは 20 世紀からだが、自然と人間を対象とする一人称形式のノンフィクションとしては 19 世紀のソローがその始まりと考えられる。自然についての思弁をとおして、エコロジカルなものの見方に目覚めることを目的とする。

5) 1630 年、マサチューセッツ植民地を形成すべくピューリタンたちがセイレムに上陸し、新たな教会をニューイングランドに打ち建てることを理想とした。そのような社会のことを、初代植民地総督ウインスロップは演説のなかで「丘の上の町」と呼んだ。

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：専門科目（英語学）

試験時間：Aコース 120分・Bコース 90分

- I
- (1) Angles
- (2) Denmark
- (3) 以下の点が含まれている解答を正解とする。
- ・410年頃、ローマ軍はブリテン島から撤退し、外敵に対して無防備になった。
 - ・先住民族のブリトン人は、北方から襲撃するピクト人やスコット人に対し、自力で防衛する力がなかった。
 - ・そこでブリトン人の指導者は、5世紀半ば、ユトランド半島周辺のゲルマン民族（アングル族、サクソン族、ジュート族）の戦士を、傭兵として招いた。
 - ・彼らは肥沃なブリテン島を気に入り、各地を侵略して定住するようになった。
- (4) [d]
- (5) [c]
- (6) [a]
- (7) 以下の点が含まれている解答を正解とする。
- ・西ヨーロッパからインド半島にわたる、共通の印欧語基語 (Proto Indo-European) から生じ、分化した言語の系統。
 - ・主な語派として、ゲルマン語派、イタリック語派、ケルト語派、ヘレニック語派、バルト・スラヴ語派、インド・イラン語派、アルメニア語派、アルバニア語派などがある。
 - ・英語はゲルマン語に属し、オランダ語やドイツ語と同じく、そのうちの西ゲルマン語に属す。
- (8) Dutch (Danish, Swedish, Norwegian も正解として扱う)
- (9) 以下の点が含まれている解答を正解とする。
- ・英語は古英語から中英語を経て近代英語に至る過程で、屈折中心の総合的言語 (synthetic language) から、語順と機能語に依存する分析的言語 (analytic language) へと移行した。
 - ・語形 (屈折) は、名詞、動詞、形容詞、冠詞などにおいて、full inflection (古英語) → levelled inflection (中英語) → lost inflection (近代英語) のように簡素化が進んだ。
 - ・語順は、古英語では比較的自由であったが、語形の衰退に伴い固定化が進み、同時に前置詞や助動詞などを用いて文法関係を明確にするようになった。

(10) 以下の点が含まれている解答を正解とする。

- ・英語の語彙は、本来語（OE を含むゲルマン語）と借用語（主にフランス語、ラテン語、ギリシャ語）からなる。
- ・ゲルマン語由来は日常的・基本的、フランス語由来は文化的・社会的、ラテン語由来とギリシャ語由来は学問的・抽象的、という特徴がある。

II

ME

四月の快いにわか雨が
三月の乾きに耐えた草木の根に沁み込んで、
樹液となって葉脈を満たすと、
そのはたらきによって花が綻び、

（出典：チャーサー作、笹本長敬訳（2002）、『カンタベリー物語（全訳）』、英宝社、3頁）

OE

さてシュルドは出発した 定めの時に来て、
非常に豪胆だった者が 主の御胸に赴くべく

（出典：苅部恒徳・小山良一編著（2007）、『古英語叙事詩ベーオウルフ対訳版』、研究社、3頁）

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：第一外国語（和文英訳）

試験時間：Aコース 90分・Bコース 90分

(1) Transcendentalism taught that knowledge of God depends not on the authority of the Church but on the refinement of the individual mind, and that knowledge of truth derives not from dusty old books but from one's own intuition. In this sense it sought the democratization of intellect.

(2) However, the more strongly the freedom of the soul is emphasized, the more clearly it reveals the reality of a society far removed from its ideals, in which there are those who are unable to enjoy the rights that are supposedly guaranteed.

(3) The book shares with Transcendentalism the romantic belief that ideals will be realized, while it demonstrates—through examples drawn from myth, classical works, contemporary literature, legends, and real-life cases—how deeply women have been excluded from the development of human spiritual life.

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：第一外国語（英文和訳）

試験時間：Aコース 90分・Bコース 90分

（1）左派は、広範な経済的平等よりも、周縁化されていると見なされる多種多様な集団の利益を推進することの方に焦点を置くようになってきた

（2）いっぽう右派は、伝統的な国民的アイデンティティ——しばしばあからさまに人種、民族、宗教と結びついたアイデンティティ——を保護することを目指す愛国者として、みずからを再定義している。

（3）多種多様な事例において、政治上の指導者は、集団の尊厳が傷つけられ、軽視され、さもなくば無視されてきたという認識を軸に、支持者を動員してきた。この憤りが、当該集団の尊厳が公的に承認されることへの要求を生むのである。屈辱を受け、尊厳の奪還を求め、単に経済的優位を追求するひとびとよりもはるかに大きな感情的影響力を持つ。

英米文学 専攻（博士前期）

試験科目：第二外国語（仏文和訳）

試験時間：Aコース 90分・Bコース 90分

